

◎インジゴカルミン注「第一三共」 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 インジゴカルミン indigocarmine 【分類】 腎機能検査用剤/センチネルリンパ節同定用薬

【単位】 ◎5mL/A [0.4%, 20mg/5mL]

【常用量】 1回1~2管

【用法】 静注, 散布

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (1)

【保存期腎不全患者への投与方法】 減量の必要なし (1)

【特徴】 静注後, 膀胱鏡で初排泄時間を調べる。すみやかに腎から尿中に排泄され、腎障害時には排泄が遅れるので泌尿器科的腎機能検査として用いる。左右両側の腎機能を別々に診断できる。正常者の初排泄時間は3~5分で、おそくとも10分以内なら機能異常ではない。腎障害がある場合は初排泄時間は遅延する。

【主な副作用・毒性】 ショック、過敏症、血圧上昇、徐脈、悪心、嘔吐

【代謝】 体内で代謝を受けない (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 29.3%、尿中回収率は63% [ラット] (1) ヒトでは投与後速やかに (静注3~5分後) 尿中に排泄され、5~7分後に尿中最高濃度に達する。腸肝循環や腎からの排泄もなく、肝より遊離型で胆汁中に高率かつ速やかに排泄される (1)

【t1/2】 生物学的半減期 3~4min (1)

【蛋白結合率】 80%がグロブリン分画に結合し、グロブリン分画のうちα1リポ蛋白と主に結合しており、この結合はアルブミンとの結合よりも親和性が強い (1)

【分布】 ラットでは静注1分、5分後には全身血管系、肺・心・腎・肝に様に分布する。15分後には肝内濃度が最高に達し、胆嚢、腸への分布が認められる (1)

【MW】 466.35

【透析性】 資料なし (1)

【TDMのポイント】 TDMの対象にならない 【O/W係数】 資料なし (1)

【更新日】 20121008

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。